

議会だより なおしま

2026
No.214
令和8年1月13日

発行・香川県直島町議会
編集・広報編集特別委員会
電話・(087)892-2297
印刷・山陽印刷(株)



連合自治会 防災講習

明けまして

おめでとうございます

議 副 議

議 員

長 長

〃 〃 〃 〃 〃

浜 口 敏 夫

高 原 三 郎

中 根 清 孝

西 岡 裕 広

小 野 孝 一

山 下 瑞 子

松 島 純 雄

山 上 英 一

井 下 良 雄

「敬老会」対象年齢の引き下げを

(町長・教育長報告)… 2・3P

オーバーツーリズム対策他(一般質問)… 4・5P

今年は園児も参加(委員会リポート)… 6P

四国汽船との意見交換会… 7P

中学校1日議会体験学習… 9~11P

なおしまキッズポート(がんばりよるで)… 12P

敬老会の対象年齢を 引き下げれば



小林町長

(主なもの)

い。
A 131名であり、客席に
余裕があった。現在7歳
以上の対象年齢を下げる
検討をしたらどうか。
(町長) 担当課、
老人会と協議した

主な質疑

対象年齢の検討を



空席が目立った敬老会

A photograph of a narrow, paved street in a traditional Japanese town. The street is lined with buildings featuring dark tiled roofs and light-colored walls. On the left, there's a shop with a sign that includes a cartoon character. A colorful banner hangs between two buildings. Utility poles with many wires are visible along the right side of the street, which slopes upwards towards a hill covered in green trees under a clear blue sky.

無電柱化で広くなる

無電柱化推進事業
Q
（西岡）宮ノ浦地
区の県道を計画し
てこねとのことだが、役

A (町長) 電柱撤去の質問があつたが、反対の意見はなかつた。

(浜口) 地元説明会ではどのような意見がでたのか。

A (町長) 工事は令和10年度からの予定だが、完成時期は未定である。

Q
(山上) 工事の完
成見込みは。

場から本村港までの道路
も必要だと思つが。

A あつたか。
(まち観課長) こ
の事業は町のP.R.
と特産品の紹介販売が主
であり、移住希望の相談
は受けていないが、町内
企業の求人情報は掲示し
た。

アイランダー2025

提出状況は、一いつては
にも報告をお願いしたい。
**（町長）議長と連
名で依頼する。**

三菱マテリアルの
操業状況等

A 土の坂、拡幅の見通しは。
Q (松島) 道幅が狭く、見通しが悪い音
(町長) 話をしたが、売らないとの返事だ。

斎士の坂拡幅は



津山教育長

町民の皆さんにも
PRしたい

(主なもの)

- 9月27日 中学校生徒会が実施する「直島一周ごみ拾いツアー」が開催され、グループと共にごみ拾いをしました。
- 10月24日 県指定外国語教育推進モデル校事業として中学校で英語の授業が公開され、1年生がインドの小学校5年生と英語でオンライン交流をしました。
- 11月3日・4日 教育文化祭が開催されました。
- 11月6日 中学校1日議会体験学習が開催されました。
- 11月13日 部活動の地域展開準備会が中学校で開催されました。
- 11月20日 県小・中学校教員配置制度を改定する説明会が開催されました。
- 11月27日 讀岐地区教育長会並びに東部教育長会が開催されました。
- 11月29日 小・中学校による「Meet the World」が小学校及び家プロジェクト、ベネッセハウスで開催されました。

直島一周ごみ拾いツアー すばらしい取り組み



中学生直島一周ごみ拾いツアー

Q

(西岡) 中学生の
ごみ拾いツアーは直島一周ごみ拾いツアーに
町民の皆さんも

主な質疑

すばりじことだ。子どもたちの頃からの環境への習慣は身に付くと思う。いつ頃から行なっているのか。

Q

(教育長) 平成12年から実施している。

活動を見ていた観光客がとても感心され、これからもぜひ続けてほしいと言われた。

この活動はふれあい通信でも放送しているが、町民の参加がほぼない。

中学生と一緒に活動し

A

(教育長) 年から実施している。

（浜口）中学生の活動を見ていた観光客がとても感心され、これからもぜひ続けてほしいと言われた。

この活動はふれあい通信でも放送しているが、町民の参加がほぼない。

中学生と一緒に活動し

てもうえればと思うが。
(教育長) 中学生もボランティアで活動しており、ライオンズクラブの方も毎年参加している。直島の美しい環境を守るためのこういう取り組みは、大変すばらしいと思う。

A

(教育長) 中学生もボランティアで活動しており、ライオンズクラブの方も毎年参加している。直島の美しい環境を守るためのこういう取り組みは、大変すばらしいと思う。

A

(教育長) 指定外

ル校は、直島中学校の他に1校が指定を受けている。

Q

(中根) 教員の配置制度の改定で、当町の教員配置はどうなるのか。

A

(教育長) 指定外に1校が指定を受けている。

A

(教育長) 教員の配置は、基本的に学級数に基づいて決まる。

他校の中学生に比べ直島の生徒は、相手の言うことをよく理解できたりで、自分の伝えたいことが言えていたので、本

当のインターネット交流ができたとの県教委の評価だった。

香川県の場合、通常の学級と特別支援学級を足した数で決まっていた。最近は年々特別支援学級が増えてきているが、当町では、子どもの数が少ないでの影響は全くない。

部活動地域展開の状況は

直島に対する感想は

Q

(中根) 直島の部活動の地域展開は、どんな状況か。

Q

(松島) 「Meet the World」に参加した18人のALTの直島に対する感想はどうだったか。

A

(教育長) 剣道部と柔道部はスポーツ少年団に委託している

(教育長) ALTの様子を見ている

ので、休日平日とも完全に地域展開ができている。

（教育長）ALTの様子を見ている

バドミントン部は4月から学校外活動を開き、夏以降は地域展開ができることになっている。

（教育長）ALTの様子を見ている

大変楽しんでいたと思う。

教員の配置数の状況は

3人が登壇

問う

おいて作成しています

次期瀬戸芸の安全対策を

〔町長〕改善を検討する



西岡議員

春・夏・秋と過去最多の来島者が当町を訪れ、盛況のうちに終了した瀬戸芸を大変うれしく思う。関係各位のご尽力に對し、感謝申し上げる。

一方で、来島者の増加に伴い、「三のポイ捨て」・自転車の並走やながら運転等、マナー・交通違反行為が顕在化。改善を求

自転車の並走やながら運転等、マナー・交通違反行為が顕在化。改善を求める町民の声が多く寄せられている。

混雑等、オーバーツーリズム状態だつた。今回の課題を、関係機関と連携し、以下の対策を検討している。



過去最多の来島者

③宮浦港周辺の混雑対策について、複合施設も建設され、さらなる混雑が予想される。安全確保のために、横断歩道の設置は有効だ。

A 戸芸は、来島者が過去最高を記録、フエリーの積み残しやバスの混雑等、オーバーツーリズム状態だった。

①県実行委員会に、ガードマン増員に必要な予算を強く要望してほしい。
②県警北署に、交通指導パトロール強化の実施を

国汽船等の関係者と早い段階から協議、次期瀬戸芸に向けて改善策を検討する。

落石防止対策を

〔町長〕現地を確認し検討



中根 議員

県道北風戸積浦線の幼児学園横から宮ノ浦池横までの山側斜面が風化のために岩肌がむき出しになつており、大小さまざまな石が落ちてきている。道路まで落ちてくれれば、自転車・バイクなどが躊躇して倒し、大けがの墜落もあり大変危険だ。また、南海トラフ大地震が発生した場合には、大災害も容易に考えられる。落石を防止できるしつかりとした対策を望む。

とともに現地を確認し、必要な対策について検討していく。町としても、町道もあるので県道のみならず安全で安心して通行できるよう、今後とも道路の維持管理に努める。

り面の高さや石の大きさ、土地の所有者など現状を把握したうえで、適切な対策を検討する必要がある。対策の方法や範囲によつては大規模な工事となり、直ちに対応することが難しく、重要性に落石は始まり、大小さまざまな石が落ちてかなり危ない状態になつてゐる。担当課も県の担当と一緒に視察をして、なるべく早い対応を望む。

A photograph of a steep, rocky hillside. The rock face is light-colored and layered, with various plants growing on it. At the top, there are several tall trees and some smaller shrubs. The base of the hillside is covered in more vegetation and some fallen branches.

早い対応を

委員会リポート

経済・民生

山下 委員長

今年は園児も参加

A (事務長) 風邪気味
状の疑いの時は来る前に連絡し、発熱外来

Q (事務長) 風邪気味
で熱がないので受付に行くと注意を受けた。

Q (事務長) 風邪気味
で熱がないので受付に行くと注意を受けた。



大きくなつてね

11月17・18日の両日、合同常任委員会を開催し、各課からの報告を受け、議論を交わしました。主なもののみ報告します。

中根 委員長

総務・文教

中学校1日議会 体験学習開催

〔総務課〕
10月24日
幼小中合同避難訓練

11月6日
中学校1日議会体験学習

12月27日～30日
消防団年末警戒

1月11日
消防団出初式

11月8日
〔まちづくり観光課〕

11月8日
〔デジタル推進室〕

11月8日
〔診療所〕

11月8日
〔住基人口〕

11月8日
〔住民福祉課〕

11月8日
〔健康推進室〕

11月8日
〔環境水道課〕

11月8日
〔建設経済課〕

11月8日
〔キジハタ稚魚4千匹放流〕

11月8日
〔鳥獣捕獲数〕

11月8日
〔エコアイランド推進委員会〕

11月8日
〔つり公園〕

11月8日
〔鳥獣捕獲数〕

11月8日
〔金管五重奏演奏会〕

11月8日
〔移住フェア〕

11月8日
〔二十歳のつどい〕

11月8日
〔入学式・入園式の日程〕

11月8日
〔小学校〕

11月8日
〔幼稚園〕

11月8日
〔福社センター劇場で開催〕

11月8日
〔二十四節氣〕

11

11月26日、2回目の

四国汽船からの報告会

を開催。四国汽船から

田邊専務、清板宮ノ浦

支店長。執行部

からは町長、副

町長、担当課長

の出席をいただ

いた。

はじめに田邊

専務より「前回

出席した後、会

社としても社内

改革を進めてい

ます。

船員に関して

は、入社はする

がすぐに辞め

る。労働密度が

高すぎて定着で

きない状況です。

安全運航に關して、4月に岸

壁の接触事故があり、さらに8月に高速艇で定員超過が発生しまし

た。海上輸送において

と報告があり、意見交換

四国汽船と意見交換（総務・文教常任委員会）

は厳しく処置され、今後

事故等起こすと運航停止

もあると、通達をいただ

いています。

西岡委員「実質、値上

げはいつからか」

専務「2月1日からで

発表させていただきたい」

山上委員「前回、運賃

安全のためには、たと

え同じグループでも定員

となれば止めないとけ

ない。

運賃改定は、11月27日

に運輸局へ、4mから6

mの車輛について値上げ

申請します。人の運賃は

我々議会は町民の代表、

中根委員長「現在の回

中で、決まれば相談する

とのことだったが、町長・

ベネッセ・三菱マテリア

ルへは相談していた。

町民の生活航路としての自覚を

応にし、住民専用ボタン

を付け現金でも利用可能

にする。クレジットや交

通系カードも利用できる。

高松航路は赤字で、字

野航路は黒字だから運

賃改定はできないとの

説明だったが、今回は

認可が下りた。宇野航

路も赤字ということが

期間があるので、1月31

日に買えば2カ月間有効

だ」

浜口委員「小型船の

野航路は利益が出てい

る。しかし会社として

は赤字なので、今回の

値上げになつた」

中根委員長「四国汽

船に関しては、町民の

生活航路としての自覚

をしっかりと持つてい

ただき、今後ともよろ

しくお願ひしたい」

と結んで会を終了した。

（中根
記）

レッドバードの活用は

歳入歳出予算の総額に

それぞれ3575万円を

追加し、予算総額は35億

6106万円となりまし

た。

歳入の主なもの

● 地方交付税

● 前年度繰越金

● 工事請負費

● 庁舎発電機等更新

3575万円追加

2804万円追加

771万円追加

● 岁出の主なもの

● 岁入の主なものの

● 介護保険事業費補助金

● 介護保険システム改修

費 174万円追加

● 前年度繰越金

179万円追加

● 委託料

● 介護保険システム改修

業務 353万円追加

令和7年度補正予算

一般会計



四国汽船と協議

特別会計

介護保険事業

◎歳入の主なもの

● 介護保険事業費補助金

● 介護保険システム改修

費 174万円追加

● 前年度繰越金

179万円追加

● 委託料

● 介護保険システム改修

業務 353万円追加

研修記



北島町議会議長があいさつ

当町含め他府県から、
14の町村議会が参加しま
した。

開会式の後、はじめに
講師の中村健氏から「人
口減少&AI時代の地方
議会の役割」と題して講
話がありました。

北島町議会議長があいさつ

中村 健氏

10月16～17日の2日間、
「第11回全国コンパクトタ
ウン議会サミットin北
島」に参加するため、徳
島県北島町に議員全員で
島県北島町に議員全員で
行つきました。

当町含め他府県から、
14の町村議会が参加しま
した。

開会式の後、はじめに
講師の中村健氏から「人
口減少&AI時代の地方
議会の役割」と題して講
話がありました。



熱く語る中村健氏

住民と 意見交換の場を持つて

分科会

次に、各町が3分科会
に分かれ、3つのテーマ
で意見交換を行ないまし
た。

第1分科会

「地域公共交通の在り方」
参加町は当町以外全て
陸上の公共交通に対する
問題定義で、デ

災害に対する備え

2日目、徳島県立防災

たが、人口3千人の3日
分の食糧を備蓄している
のは当町だけでした。

第3分科会

「人口動態からの子育て
支援」

放課後の子ども預かり
や出産祝金、給食費や18
歳までの医療費無償化な
ど、どこも似通った施策
内容でした。

センターでは、大月倫子
氏による「コンパクトタ
ウンの防災～北島町の場
合～」というセミナーを
受講しました。

今回の研修で得た知
識や体験は、いざとい
う時必ず役に立つので、
忘れることがないよう
記して結びといたします。

山下 記



各分科会 熱心に意見交換

など、地域の問題を議会
は住民と意見交換の場を
もって、住民主体で課題
解決に取り組むことが住
民自治の成熟につながる
という内容でした。

「大規模災害へ
の対応」

ハザードマッ
プの整備や避難
所の特定などは
どこも同じでし

○公共交通が縮小してい
る
○空き家が増えている
○独り暮らしの高齢者が
増えている
○消防団員・民生委員な
どになり手不足
○自治会役員のなり手不
足

問題定義で、デ
陸上の公共交通に対する
マニドバスやコ
ミュニティバス
などの現状と課
題を報告。当町
はフェリー・小
型船の現状につ
いて説明しまし
た。

○災害対応は町職員にし
かできない（避難指示
の判断→それを放送→
被害状況を調べ、避難
所開設）ので、町職員
を守ることが町民を守
ることに直結する
○最終目標は町の存続、
元の生活にいち早く戻
すこと

講師の体験に基づいた
話は大変わかりやすく、
参考になりました。

この後、県立防災セン

表 彰

自治功労で表彰



松島 議員

四国地区町村議会議長
会会長から、地方自治の
振興発展に寄与した功績
に対し、松島議員が表彰
されました。



11月6日、中学3年生による1日議会が開催され、19の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。

皆さんに感想文を書いていただきましたが、紙面の都合上9人の生徒の感想文を紹介します。



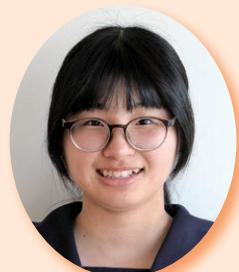
生徒代表あいさつ
塩入 大聖さん

歩行者の反射材用品の着用について

1日議会体験を通して、私は、日頃から議員の方々は直島町のために改善するところを考えて、直島町執行部が丁寧に回答して、よりよい町づくりを行っていることが改めてわかりました。

また、私たちの意見に対して対策も含めて、丁寧に回答してくださり、とても理解がしやすかったです。直島の景観のことまで考えて述べていたので、すごいと思いました。自分の番がくるときは、手をまっすぐに「はい。議長」と聞こえるように言うことができました。

最後に1日議会体験学習という貴重な体験を開催してくださり本当にありがとうございました。この体験で学んだことや大きな声で返事をするということをこれから的生活に活かしたいと思います。



おおつか ゆづは
大塚 由珠葉さん

県道256号線の自転車道について

1日議会体験学習では、中学生の考えてきた質問を誠心誠意受け止め、本当の町議会のようにしてくださり、とても貴重な時間を過ごすことができました。私の議案では、県道256号線の自転車道の幅が広げられないが、自転車に乗っている方が安全に走行できるように道の修復について県と協議をしてくださっていると知り、安心しました。また、現場の状況に合わせて、自転車にタグホルダーをつけたり、レンタサイクル事業者の方々と連携したりしているということも知れてよかったです。本当に貴重な体験をありがとうございました。



きくち らいと
菊地 礼人さん

町の地域活性化について

私は、今回の議会体験を通して、議会の進行の仕方や雰囲気についてよく分かりました。また、中学生が今の直島に対して考えていることを発言するとともに、町のことで深く考えることができました。直島の活性化についても調べることで自分が知らないことを知ることができました。他の人の発言を聞いて普段その観点について考えなかったことも考える機会ができました。私たちが充実した生活をするために、しっかりと自分たちで調べることの大切さや、生活に関わるさまざまなことを、多くの人が意見を出し合って成り立っているということも実感することできました。



さかぐち うみ
坂口 羽海さん



爲平 議長

道路の案内板設置について

今回の議会体験学習では、実際に自分たちで議員席に座ったり、討論の流れを体験したりして、見学だけでは分からなかった議会の仕組みを深く理解することができました。私は議員になりきってみて、意見をまとめる難しさや、相手の話をしっかりと聞くことの大切さをとても実感しました。議会の雰囲気は緊張感があり、発言するだけで勇気が必要だと感じました。この体験を通して、地域のことを考える人たちの責任の重さを知り、政治が少し身近に感じられるようになりました。普段から地域のことについて考えたり、勇気を出して発言したりしながら、今後の生活に活かしていきたいです。



たきもと なつみ
瀧本 夏海さん

町の医療体制について

私は、この1日議会体験学習を通して、町への安心感が強まりました。一つ一つの案にたくさんの方がより良い方法は何かと考えており、あたりまえのことのように思っていましたが、改めてすごいと思いました。また、「議会」という言葉からとても堅苦しいイメージを持ち、とても緊張していました。しかし、町長をはじめ、町執行部の方々が優しく迎えてくださったおかげで、堂々と自分の意見を伝えることができました。

今後、もし、直島での暮らしに疑問や提案が浮かんだときは、町役場の方々に伝えてみたいとも思いました。そして、いつかは、私自身が議員になって、直島をよりよい町にできるように頑張りたいと思います。



しおいり だいせい
塩入 大聖さん

観光客の自転車の乗り方について

中学生の視点から直島に今何が必要なのかを考えながら、防災や交通など身近な話題について質問させていただきました。さまざまな意見を伺う中で、一つの問題にも多様な立場や考え方があり、メリットとデメリットの両面を踏まえて判断することの難しさを学びました。特に、直島は観光地として多くの方が訪れる地域でありながら、住民の暮らしを守るという責任もあります。その両立の重要性と調和の難しさを改めて実感しました。また、議長職の体験では、議長や事務局長からの丁寧なご指導をいただき、会議を円滑に進められるよう努めました。堂々と議長の職務を果たすことができてよかったです。今回の議会体験学習を通して、町を支える方々の努力を知り、地域の一員として自分の考えを持つことの大切さを強く感じました。これからも直島の一員としてできることを考え、積極的行動していきたいです。

ほんとうに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



ためひら あやの
爲平 彩乃さん



井野川 議長



なかね ろっか
中根 六花さん

町の防災体制について

町が今よりもよい町になるよう環境整備や医療体制、防災体制などについての町の意見を聞くことができて、とても良い機会になりました。特に自然災害が発生した際の外国人をはじめとする観光客への対応などを、どのように計画をされているのか、訓練の実施状況について知ることができて良かったです。

このほかにも、今後の明るい直島町のためにたくさんの町のご意見を聞かせていただくことができ、とても勉強になりました。私は1日議会体験学習を通して、自分たちができるることはやっていこうと思いました。

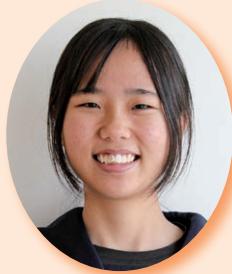


なるせ
鳴瀬 さくらさん

町内の街灯の設置について

この学習を通して、話し合いの大切さを学びました。直島で改善してもらいたいことを、町長をはじめ、町執行部の方々の前で発言することはとても緊張しました。私の質問に対して、直島が過去に行なってきたことや現状、課題を踏まえて、どうしていくかを話してくださったので、とても分かりやすかったです。私の質問は、街灯の設置についてでしたが、電柱があるところにしか設置することができない、予算も考えなければならないという回答で納得しました。他の人の意見を聞くことで、私にはなかった考え方や視点に気づくことができました。

これからは、直島のことにもっと関心を持ち、自分なりの意見を持てるようにしたいです。



はらぐち なる
原口 七瑠さん

夏祭りがなくなったことについて

私は、この体験を通して、町執行部の方々や議員の方々が、普段、町民のことをどれだけ考えてくださっているか身をもって感じることができました。私たちの意見に答えてくださるときも前もってさまざまなことを調べて答えてくださっており、すごいなと思いました。また、たくさんの意見がでても、なんでもかんでも実施するのはとても難しいことなんだなと思いました。私も町のために直島一周ゴミ拾いツアーやお祭りへの参加など、小さなことでもできることからやっていきたいです。

がんばりよるで

なおしまキッズポート



植松清華さん



前列右から
久保さん
山本さん
杉峰さん
植松さん
山名さん
菊地さん

今回ご登場いただくのは、福祉センター内でがんばつりよる、なおしまキッズポートの皆さんです。

Q 植松さん、こんにちは。本日はよろしくお願ひします。まずははじめに、いつ発足しましたか。

A (植松) 2020年3月に一般社団法人キッズポートが発足し、同年6月におしまキッズポートが開室しました。

Q 現在、スタッフは何人おられますか。お名前は。

A (植松) なおしまキッズポートのメインスタッフは、山本里美、菊地瞳、久保瑛子、杉峰歩、山名めぐみ、大岸夏子、私の7人です。

Q 利用時間は何時から何時までですか。

A (植松) 火曜から土曜は9時30分～17時、日曜は9時30分～15時30分です。

Q 毎日多くの方が利用されていると思いますが大変なことなどありますか。

A (植松) 天候などに左右されず、安心して遊べる場はとても助かると言つていただけますし、子どもたちも楽しそうに遊んでくれています。

Q 今後の活動について

A (植松) 私も愉しんで仕事ができているので、特に大変だと思うことはありません。

A (植松) キッズポートを利用してくださることで、皆さんに直島町での子育てが、より愉しく、充実していると感じていただけるよう、スタッフ一同、これからも創意工夫しながらキッズポートを運営していきたいと思います。いっぱい遊びに来てくださいね！

A (植松) 井の中の蛙では「持続可能な世界の直島」はない。まず今年は「訪問税」先進地の宮島を観察してみたい。



編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年の直島、さすがアートの聖地「世界の直島」過去最高の入り込み。

しかし、それは「日日ができる居場所」であり続けたいです。



前列右から
久保さん
山本さん
杉峰さん
植松さん
山名さん
菊地さん

Q キッズポートを利用する対象者はどのようなになっていますか。

A (植松) これから赤ちゃんを迎えるご家族や未就学児を対象とした居場所ですが、小学生以上

A (植松) 私も愉しんで仕事ができているので、特に大変だと思うことはありません。

A (植松) こうしたい、こうなってほしいとの思いはありますか。

A (植松) これからも変わらず、「親子がいつでも安心して立ち寄ること

なあしまキッズポートの皆さん本日はありがとうございました。町内の子どもたちのよどころとして、これからも頑張ってください。私たちも応援しています。



育てで大変な時期にキッズポートがあつたから救われました」と利

（井下 記）

広報編集特別委員会
委員長 井下 良雄
副委員長 山上 英一
委員 山下 玲子
小野 孝一
西岡裕喜広 中根 清孝
浜口 敏夫